

国土交通省 清水港湾事務所 広報紙

みなとしみず

SINCE 1990.6 No. 149

～清水港をはじめ静岡県内の「みなと」の旬な情報をお届けします！～

発行



国土交通省 中部地方整備局
清水港湾事務所



静岡県清水区日の出町7番2号

TEL 054-352-4146 (代表)

事務所HP <http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

清水港湾事務所長 滝川 尚樹 着任のご挨拶

このたび清水港湾事務所長を拝命した滝川と申します。

これまで、国際バルク、港湾環境、洋上風力など港湾諸施策の立案に携わり、前職は、在ミャンマー日本国大使館にて港湾・空港・鉄道等のODAに関する諸調整や、現地で活動する日系企業の支援等に携わっておりました。

中部地方での勤務は初めてですが、これまでの経験も活かしつつ、関係の皆様と一丸となって、地域を盛り上げるために全力を尽くしますので、若輩の身ではございますが、よろしくお願いいたします。

静岡の港は、背後圏の交通網整備の進展もあり、静岡はもとより、甲信地域の産業も支える拠点としてますます重要性が増しており、これら地域産業を支える港湾整備を着実に進めることが重要だと考えております。また、農水産物の輸出促進、カーボンニュートラルポートの形成、アフターコロナを見据えた賑わい・観光の再興など、新たな時代を切り拓くための取り組みにも関係の皆様と連携の上、積極的にチャレンジしていきたいと考えています。

災害への備えも重要です。切迫する大規模地震、激甚化する台風災害が懸念される中で、ハード・ソフト両面の取り組みを更に深化させる必要があります。

様々な課題・チャレンジがございますが、関係の皆様と共に地域の将来のために仕事をさせて頂けることを大変楽しみにしております。

何とぞよろしくお願いいたします。



清水港湾事務所長 滝川 尚樹

転任のご挨拶

前 清水港湾事務所長 早川 佑介

この度、4月1日付けで国土交通省港湾局に異動となりました。在任中、当事務所にご支援・ご協力を賜りました地域の皆様や港湾関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

令和2年4月に着任して以降、新型コロナウイルス感染拡大というかつて経験したことがない状況が続きましたが、そのような中でも、昨年10月に事務所開設100周年という節目を迎えられたことは大きな喜びとなりました。伝統ある清水港湾事務所で仕事をさせていただけたことに感謝し、今後も静岡での経験を活かして港湾行政に取り組んで参ります。プライベートでも、海・山の自然や食を楽しみに時々静岡に遊びに来ようと思っています。2年間、本当にありがとうございました。

【令和4年度 清水港事業概要】



＜清水港の事業箇所＞

③新興津岸壁の延伸

近年、船の大型化や紙の原料であるパルプなどの輸入量が増加したことで岸壁利用に混雑が生じています。こうした課題に対応するため、岸壁を200m延伸する工事を進めます。

④日の出岸壁の改良

老朽化対策にあわせて、大型クルーズ船2隻同時着岸等にも対応できるよう、岸壁の改良工事を進めます。

①外港防波堤の改良

東日本大震災では、津波により防波堤が倒壊し、長期にわたり港の利用に影響が生じました。

こうした教訓を踏まえ、大規模地震・津波による防波堤の倒壊を防ぐための防波堤の「粘り強い構造」※への改良・補強工事を進めます。

②富士見岸壁の改良

老朽化対策にあわせて、大型の穀物運搬船等にも対応できるよう、岸壁の改良工事を進めます。



＜新興津岸壁延伸事業の概要＞

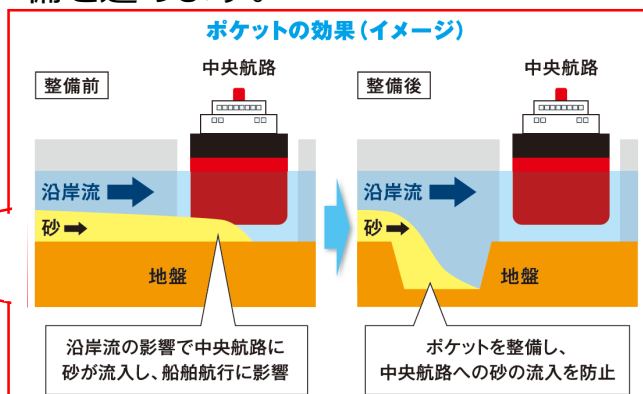
【令和4年度 田子の浦港事業概要】



＜田子の浦港の事業箇所＞

①ポケットの整備

西からの沿岸流で運ばれる砂の航路内への流入・堆積を防止し、港の安全かつ安定的な利用を確保するため、港口部のポケット（くぼみ）整備を進めます。



【令和4年度 御前崎港事業概要】



<御前崎港の事業箇所>

①防波堤の整備

下田沖は海上交通の要衝であり、気象・海象条件が厳しい難所としても知られています。このため、下田港は、荒天時の船舶の避難場所として利用されてきました。

船舶が安全に避難できる静穏な水域を確保するとともに、東海地震などによる津波から市街地を防護するため、防波堤の整備を進めます。

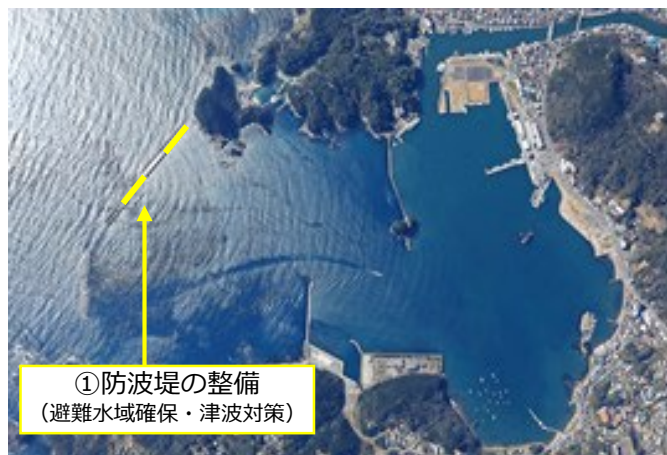
①防波堤（東）の改良

大規模地震・津波による防波堤の倒壊を防ぐため、防波堤の「粘り強い構造」※への改良・補強工事を進めます。

②西埠頭岸壁の改良

自動車を輸出する大型船（自動車運搬船）や貨物をトレーラーシャーシごと運ぶ船（RORO船）等が安全かつ安定的に利用できるよう、岸壁の老朽化対策工事を進めます。

【令和4年度 下田港事業概要】



<下田港の事業箇所>

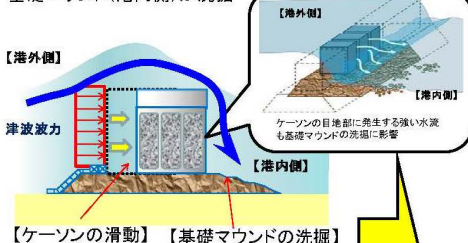
※「粘り強い構造」とは

静岡県でも、大規模地震に伴う大きな津波が発生することが想定されています。

清水港湾事務所では、100年から150年周期で発生している東海地震など、比較的発生頻度の高い津波を超える大きさの津波が発生した場合でも、防波堤の効果が粘り強く発揮できるよう、防波堤の改良を進めています。

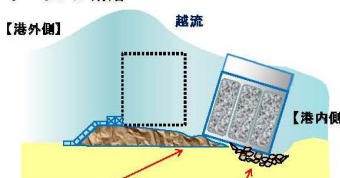
通常の防波堤 (津波による被災のメカニズム)

1) 津波外力によりケーソンが滑動し、越流により基礎マウンド(港内側)が洗掘



【ケーソンの滑動】 【基礎マウンドの洗掘】

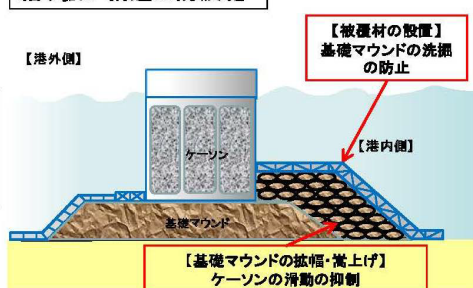
2) 基礎マウンドの洗掘がさらに進み、ケーソンが滑落



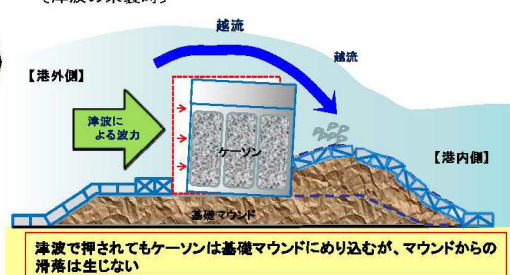
【基礎マウンドの洗掘】 【ケーソンの滑落】

対策の実施
(粘り強い構造)

粘り強い構造の防波堤



【津波の来襲時】



静岡市中央卸売市場冷蔵倉庫改良工事 ドックシェルター概成式典が開催されました

令和4年3月30日、「静岡市中央卸売市場冷蔵倉庫改良工事 ドックシェルター概成式典」が開催されました。本工事は、静岡市中央卸売市場の卸売業者である静岡VF（株）が施工主体となり、輸出農産物のコールドチェーンを確保しつつ輸出用海上コンテナに効率的に荷積みできる設備（ドックシェルター）を整備するもので、国土交通省も費用を一部支援しています。

新たに整備された施設では、中部横断自動車道（静岡－山梨）全線開通によりアクセス性の高まった山梨県、長野県等の背後圏から農産物を集荷し、コールドチェーンを確保して清水港へ搬送することが可能となることから、今後、清水港からの農産物輸出の更なる促進が期待されます。



静岡市 田辺市長 挨拶



関係者によるドックシェルター
視察の様子

「清水港農産物輸出セミナー・商談会」を 長野県松本市で初開催しました

令和4年3月15日、長野県松本市において、農産物生産関係者、輸出事業者の皆様を対象に清水港農産物輸出セミナーを初開催するとともに、清水港関係者との商談会を実施しました。当日は、WEB参加も含め全国から約100名の参加がありました。

セミナーでは、清水港からの農産物・食品輸出に関する最新の情報提供や、当事務所で実施している海上コンテナによる農産物鮮度保持試験の結果報告などを行い、清水港を活用した農産物・食品の輸出可能性等について知見の共有を図りました。

今後も、長野県や山梨県も含め、農産物等の広域的な輸出拠点としての清水港の機能強化に向けた取組を官民一体となって推進して参ります。



セミナーの様子



商談会の様子

清水港湾事務所では、学校、企業、自治会等の皆様を対象に、みなと（清水港、御前崎港、田子の浦港、下田港など）の見学会や、出前講座を実施しています。

詳細については、清水港湾事務所 企画調整課にお問い合わせ下さい。

電話：054-352-4148 メール：pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時30分～12時、13時～17時（土・日、祝祭日は除く）
携帯電話からもご利用いただけます

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは
何でもお問い合わせください

■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

TEL 054-352-4148

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp